

コスタリカ通信3

サンホセ日本人学校
宝力 駿
NO.15 12月7日

ことし お 今年も終わり

オラ (こんにちは) サンホセ日本人学校の宝力です。12月という
ことで2020年の終わりがもう近づいていますね。今年(ことし)はどんな一年間
でしたか? きっと世界中(せかいじゅう)の誰も(だれ)が「新型コロナウイルス(しんがた)で大変(たいへん)な一年(いちねん)だ
た」と思(おも)っているでしょう。ただ、宝力先生(ほうりきせんせい)は、パソコンやアイパッドを
使(つか)って授業(じゅぎょう)をしたり、ほかの国(くに)の日本人学校(にほんじんがっこう)と交(こう)流(りゅう)したりと、新(あたら)しい
こと(こと)に挑(ちょう)戦(せん)できた一年(いちねん)だとも思(おも)います。皆(みな)さんは何(なに)か今年(ことし)、挑(ちょう)戦(せん)できた
こと(こと)はありま(あ)りますか?



カエル博物館(はくぶつかん)の前(まえ)にて

コスタリカのお金

今日はコスタリカのお金(かね)の紙幣(しへい) (紙(かみ)のお金(かね)) を紹(しょう)介(かい)します。
コスタリカでは、「コロン」という単(たん)位(い)のお金(かね)を使(つか)っています。
「コロン」というのは、アメリ(あ)リカ大(たい)陸(りく)を発(はっ)見(けん)したコロンブ(こ)ろんぶに
ちなんでいます。コスタリカの紙幣(しへい)には、それぞ(それ)れ動(どう)物(ぶつ)の絵(え)が
描(えが)かれています。一(いっ)体(たい)何(なん)の絵(え)が描(えが)かれていますか、よ(よ)く見(み)て考
え(かんが)えてみ(み)てください。コスタリカの5(ご)コロンが、日(に)本(ほん)の1(いち)円(えん)に当
た(あ)るので、1000(せん)コロンで200(に)百(ひゃく)円(えん)くら(くら)い、5万(まん)コロンで1万(まん)円(えん)くら
い(くら)いになります。

コスタリカのお金(かね)はカラフル(カラフル)ですね。また、並(なら)べてみ(み)ると大
き(おお)さが少(すく)しづつ違(ちが)います。1000(せん)コロンだけ(だけ)な(な)ぜ(ぜ)か、紙(かみ)とは
違(ちが)うもの(もの)ででき(でき)ていて、間(ま)違(ちが)ってポ(ぽ)ケ(け)ット(と)に入(い)れた(れ)まま洗(せん)濯(たく)
し(し)ても破(やぶ)れま(ま)せんで(で)した。

うらがわ 裏(うらがわ)側(がわ)には、偉(えい)い人(ひと)の
肖像(しょうざう)画(が)が載(の)っ(て)いま
す。例(たと)えば、10000
コロン(みどり)の
人(じん)物(ぶつ)は、コスタリカ
から軍(ぐん)隊(たい)をなくした
も(も)とだ(だい)い(い)と(と)り(り)よ(よ)う
元(げん)大(たい)統(とう)領(りやう)です。

